

第56回高齢者排泄ケア講習会

日 時：平成 30 年 9 月 7 日（金）18:50 ~ 21:00

場 所：アクロス福岡 7 階 大会議室

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-1-1 ※次頁の地図をご覧下さい

参加費：1,000 円 募集定員：130 名 Field^{*}：B（排便管理）、D（その他）

※ Field A：排尿管理 / Field B：排便管理 / Field C：感染対策 / Field D：その他（スキンケア・オムツはずし・認知症・介護・保険他）

詳細はホームページ「排泄ケア認定制度のご案内」をご参照ください。

テーマ：チームで取り組む下剤に頼らない高齢者の排便ケア

● 情報提供 「水溶性食物纖維（グアーガム分解物）高配合製品のご案内」 ネスレ日本株式会社

開会の挨拶：山口秋人 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 理事長）

座長：荒木靖三 先生（大腸肛門病センター くるめ病院 院長）

講演：『チームで取り組む生活に寄り添った排便ケア』

講師：種子田美穂子 先生（NPO 法人日本コンチネンス協会

九州支部 副支部長 コンチネンスアドバイザー）

～講師からのコメント～

高齢者の排便機能に関する特徴として、消化機能・食事内容・運動量・姿勢や筋力の変化と薬剤の影響により、排便間隔の遷延や便排出の問題を抱えやすくなります。この特徴から考えると、多くの専門職がチームで関わり、その人の生活全般をアセスメント・支援することが、重要であると言えます。セルフケア能力が低下し始める高齢者の排便ケアにおいては、生活・身体機能の低下を必要最小限にし、本人の持っている健康上の強みをさらに生かすケア実践をチームで取り組むことにより、健康寿命の延伸、介護度増悪の回避、介護負担の軽減につながっていきます。

また、高齢者の場合、専門医への受診や専門的な検査を受けることが難しい場合が多くなるため、フィジカルアセスメント（問診、視診、触診、聴診、打診などを通して実際に身体に触れながら、症状の把握や異常の早期発見を行うこと）を、チームで行うことが大事ではないでしょうか。そこで、具体的にどのようにフィジカルアセスメントを行い、多くの高齢者に必要となる便排出のケアをどう実践していくかを、皆様と共有したいと思います。

ここ数年、新薬ラッシュですが、薬剤を使用するだけでなく、私たち専門職が、その人の身体の中で何が起こっているのかしっかりとアセスメントを行い、根拠に基づくチームケアを実践し、「薬剤でどうやって便を出すのか、止めるのか」だけでなく、その人の生活に寄り添った気持ち良い排便ケアを行うことが必要ではないでしょうか。

閉会の挨拶：今丸満美 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 副理事長）

共催：特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会、ネスレ日本株式会社
後援：福岡市泌尿器科医会、福岡市医師会、福岡県看護協会

NPO 法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局（月曜～金曜 9:00～17:00 土・日・祝日 休）

〒812-0033 福岡市博多区大博町 1-8 TEL : 092-282-5910 FAX : 092-282-5812

メールアドレス : info@fukuokahaisetsu-net.org

会場までのアクセス

